

**開催日時：**2016年4月8日（金）19:00～21:00

**会場：**JICA研究所（市ヶ谷）2階201会議室

[アクセスはこちらをご覧ください](#)

**テーマ：**「街並み景観を造る建築デザイン～欧米と日本の違い・パートⅡ」

**内容：**日本の国民は住宅を取得することによって資産を失っている。一方欧米の国民は住宅を取得することによって資産を形成している。このことは住宅を歴史・文化・生活という人文科学（ヒューマニティーズ）の視点で考え、ストックとしての住宅を建設し住んできた欧米と、「物づくり」という建築工学（エンジニアリング）で捉えて、フローとして住宅を使い捨ててきた日本の建築・都市計画の制度と考え方の違いの結果として現れた。

都市景観についても、欧州は中世からの建築デザインによる都市ストックの上に良好な景観が形成され、米国は新大陸に西欧文化の都市を再現することによって、建築デザインを引き継ぎ、美しい街並みを実現している。一方日本では、欧米をモデルに都市と住宅を造ってきたにも関わらず、貧しい都市・街並み景観になっている。これは根本的に都市と住宅をストックとしてとらえるかフローとしてとらえるかの違いに起因している。

今回のセミナーは、時間が足らず前回で紹介できなかった米国の都市と住宅地の映像を見ていただきながら、米国と日本の都市計画制度と考え方の違いを、都市景観・デザインの視点から解説する。

**講師：**戸谷 英世（とたに ひでよ）

**講師略歴：**1962年名古屋工業大学建築学科卒業。同年建設省入省。住宅局、大臣官房技術調査室、建築研究所企画調査課長、住宅都市整備公団都市開発調査課長、大阪府建築部参事等を経て、現在、特定非営利活動法人（NPO）住宅生産性研究会理事長。

著書に「アメリカの家日本の家」「輸入住宅4つの革命」「新ホームビルダー経営」「アメリカの住宅生産」「イギリスの住宅デザインとハウプラン」「ジョン・ミルン・ベーカー著『アメリカンハウススタイル』翻訳」「住宅建設の工程管理」（共著）「現場監督のためのチェックリスト」「うさぎ小屋の真実」「消費者のためのリモデリングの手引き」（翻訳）「アメリカの住宅地開発」（共著）「日本の住宅はなぜ貧しいのか」（共著）「アメリカの注文住宅がわかる本」、「21世紀米国の都市成長政策（BLC）」最新刊として「フローの住宅・ストックの住宅」（井上書院）がある。50回以上海外視察団の団長として、欧米の住宅地を視察、研究してきている。

**参加費：** 会員（無料）

非会員（¥1,000）・学生（¥500）

（尚、参加費はセミナー当日に頂きます）

**懇親会：**セミナー終了後JICA研究所近郊で、講師の方を囲んでセミナーで学んだ内容についてお話しできればと思います。一人様¥3000程度を考えておりますので、有志の方々のご参加願います。